企業・団体名（有限会社　観光荘）

（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	性別、年齢、出身を選ばない評価制度を導入しており、２年に2回被評価者との面談を行っている。 ハウスルールハンドブックに差別の禁止を記載している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	就業規則にセクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメント防止の項目を記載している。今後研修を通してハラスメントの防止教育に務める。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	過度な長時間労働の防止に取り組んでいる。各部署の責任者が労働時間をクラウドでチェックし、時間数をコントロールしている								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【予定】現状外国人労働者はいないが、雇用の際は適切な処遇や労働環境の整備を行なう				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	安全衛生チェック表をクラウドで共有し、毎日欠かさず、作業中の事故等を防げる体制を整備している 食中毒防止のため、社員の健康管理、HACCPに沿った衛生管理を行なっている。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	社内の風通し、コミュニケーションを良くして、相談しやすい雰囲気を作っている。 個別相談については、保険会社の相談窓口や、社長が相談に応じている。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	人材を選ばない評価制度を導入しており、２年に2回被評価者との面談を行い、キャリアアップに取り組んでいる。社員の７割以上が女性、高齢者を占める。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	入社年度にビジネスマナー習得を目的とした外部の研修に参加している。年に10回行う社員研修でコミュニケーション研修を取り入れている。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	労働関係法規を厳守し、評価制度に基づき、雇用状態に関わらず、同一労働の原則に沿って対応している					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	都道府県協会けんぽ健保連の「チャレンジ宣言」取得。　　健康経営優良法人2023を取得。 毎年社員の健康診断を行なっている。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物処理法を厳守し、廃棄の種類や重量などはマニュフェストで管理している。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	自社のエネルギー使用量（電気・ガス・水道）を把握し、記録を保管している							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	自社のエネルギー使用量（電気・ガス・水道）を把握し、排出の抑制に取り組んでいる、岡谷本店にソーラーパネルと蓄電池を設備し、発電した電力は全て自家消費している。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	法令等で規制されている有害物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	一般的な鰻よりも大きいサイズのうなぎを使用し、１匹から最大3人前の食事を作る事で資源の節約に繋げる様努めている。 地域の清掃活動に参加している。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	廃棄物処理法を厳守し、廃棄物の分別、マニフェスト管理を行なっている。 提供した飲み物のビン類はリサイクルに回している。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	地下水を利用している。水質を毎年検査している。 廃油は業者に依頼し適切に処理している。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	予定　現在ISO14001の認証取得はないが、今後会社の発展状況により取得を検討する。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	長野県SDGs推進企業登録制度に参加し、開示していく												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	岡谷本店にソーラーパネルと蓄電池を設備し、発電した電力は全て自家消費している。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	一般的な鰻よりも大きいサイズのうなぎを使用し、１匹から最大3人前の食事を作る事で資源の節約に繋げる様努めている。 コピー時に再生紙、裏紙を活用している。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	ハウスルールハンドブックを設け、汚職、増収賄を禁止することを社員に周知している																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	ハウスルールハンドブックを設け、不正競争行為に関与しないことを社員に周知している																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	商標取得し知的財産の保護に取り組んでいる。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	顧客情報は適切に管理している。 社員のマイナンバーを適切に管理している。 pc等はパスワード等のセキュリティ管理をしている。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	紛争鉱物の取り扱いはない。 今後も取り扱う予定はない。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	サプライヤー、事業パートナー、お取引先と人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響、ハラスメントの防止等に共に取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	HACCPに基づく衛生管理により食の安全を確保している。外部の衛生指導講師を定期的に招き徹底した工場衛生管理を行なっている。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	社内で品質向上委員会、サービス向上委員会を設置し、品質の向上、サービスを向上する仕組みを構築している。 クレームはマニュアルに基づき、原因究明と対応し、再発防止のため社内で共有している。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	岡谷市内のシルクの製糸工場より出た蚕のさなぎをブレンドした餌でうなぎを育て、「シルクうなぎ」としてブランド化し販売。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	新システムの導入や配膳ロボットを導入しDX化を図っている。 長野県SDGs推進企業登録制度に参加し、社会課題の解決に取り組んでいく。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	高校生向けの会社説明会に積極的に参加している。 松本店の排煙設備にフィルターを設け、匂いと煙の抑制に取り組んでいる。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	岡谷市の推奨土産品の登録されている。地元の学校給食に鰻を提供している。スポーツチームとスポンサー契約している。 社員が地域のPTA、清掃活動に参加している。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地域の原材料を優先的利用している。 地元の人材を採用している。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念を明文化している。従業員全員が理念を持ち、毎月の研修の際に経営理念を暗唱している。クレドカードを作成して全社員に配布し企業理念や行動指針の周知徹底を行っている。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	ハウスルールハンドブックに法令遵守を明記している。 法令遵守の考えが社内浸透し、法令を確実に遵守する体制、仕組みを構築している																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	委員会制度を設けており、組織体制を整備している																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	お客様からのご意見を共有し、適切な対応が取れる仕組みを構築している																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	経営計画発表の際に、起こり得るリスクを書面にて周知し、リスクへの対策も同時に周知している。 HACCPに基づき衛生管理、食中毒の防止を行っている。 保険に加入している。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	長野県SDGs推進企業登録制度に参加し、社会的責任を果たしていく。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	事業継続力強化計画を作成済み。 緊急事態に備え、社員の連絡網を作成、社員に緊急避難場所を徹底している。 避難訓練を実施している。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	社長が若く、今後必要に応じて検討していく。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
うなぎの加工時にでる残渣（うなぎの頭など）を用いた商品開発し、廃棄物を削減する。□	2030年までにうなぎの頭廃棄量を減少する方法を検討する。												12.5					
岡谷市内のシルクの製糸工場より出た蚕のさなぎをブレンドした餌でうなぎを育て、「シルクうなぎ」としてブランド化し販売。ブレンドするさなぎの量を増やし、さなぎの有効利用と、地域の発展を目指す。	2030年までにさなぎの使用量を倍増させる。								8						14			

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
　（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）